

第1号様式

(第1面)

事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 190-8517

住 所 東京都立川市栄町6-1-1

氏 名 株式会社いなげや

代表取締役社長

本杉 吉員

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社いなげや		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区中野島2325-1		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	52	飲食料品卸売業
主たる事業 の内容	スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	2,247 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
メールアドレス			

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

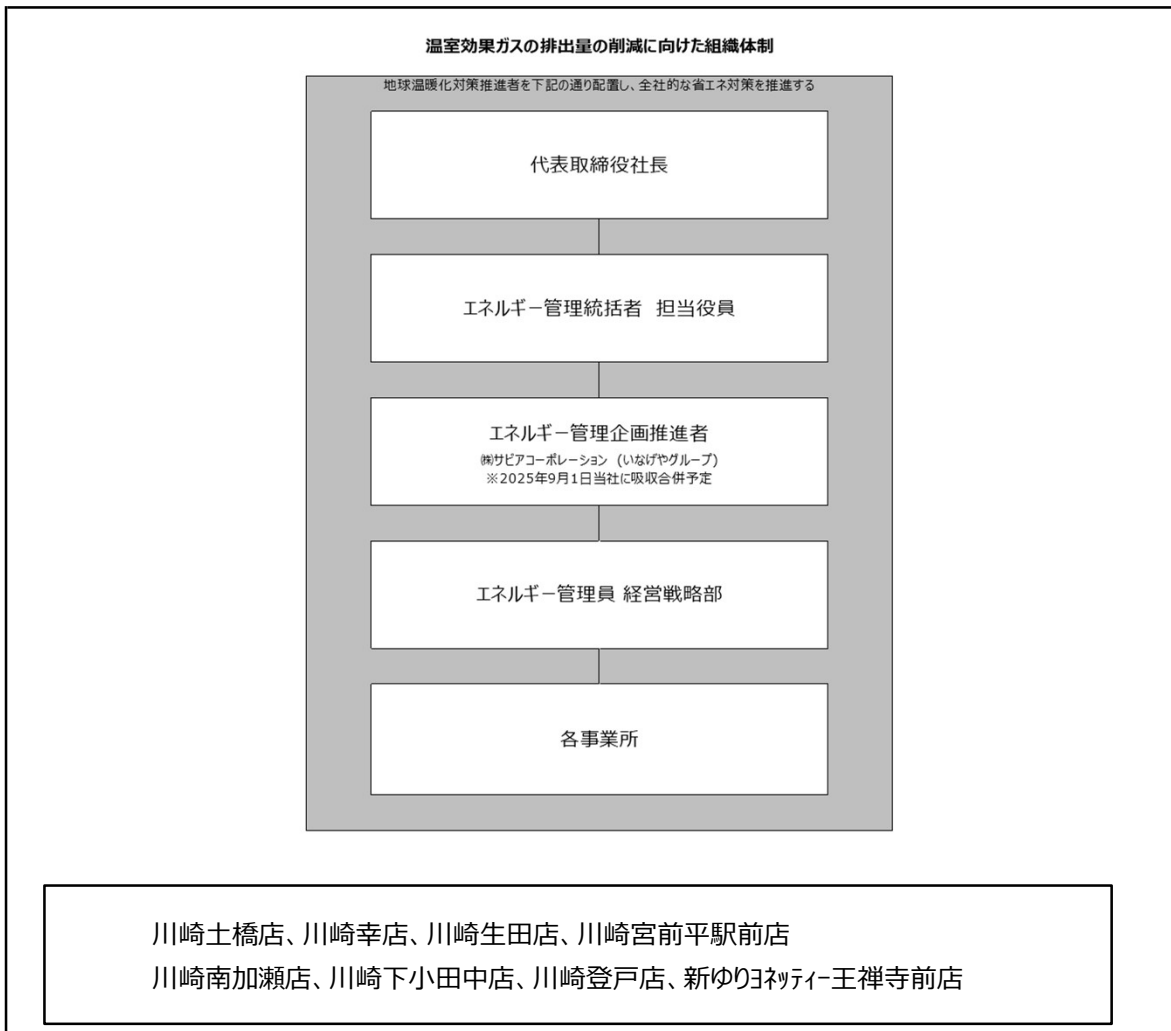
(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

- <管理基準に基づく省エネ対策の実行・継続>
- ①空調設備面の対策
 - ・基準温度設定(夏季・冬季)、フィルター清掃(定期)
 - ②照明設備面の対策
 - ・タイマー管理による段階的な点灯、外灯の点灯時間変更(夏季・冬季)、反射板の清掃
 - ③冷蔵・冷凍設備
 - ・ハニカム・清掃(定期設定)、フィルター清掃、夏季の空冷コンデンサ散水

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理(PDCAサイクル)を行うための方針

- <CO2削減目標設定と、達成のための計画等立案>
- ①設備維持管理による削減・・・LED照明の更新、各種清掃、設定変更(温度・時間)
 - ②設備更新による削減・・・冷蔵設備の更新(フロンR-22)、省エネ設備設置
 - ③太陽光設備設置による削減・・・躯体年齢・構造計算・発電量の調査

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制



3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 (t-CO ₂)	(基)	2,678	(基)		(基)	
		(調)	2,678	(調)		(調)	
目標	排出量 (t-CO ₂)	(基)	3,158	(基)		(基)	
		(調)	3,158	(調)		(調)	
削減	量 (t-CO ₂)	(基)	-480	(基)		(基)	
		(調)	-480	(調)		(調)	
削減	率	(基)	-17.9 %	(基)	%	(基)	%
		(調)	-17.9 %	(調)	%	(調)	%

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
			(調)		(調)		(調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
			(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)	%
			(調)	%	(調)	%	(調)	%
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
			(調)		(調)		(調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
			(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)	%
			(調)	%	(調)	%	(調)	%
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
			(調)		(調)		(調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基)		(基)		(基)	
			(調)		(調)		(調)	
		削減率	(基)	%	(基)	%	(基)	%
			(調)	%	(調)	%	(調)	%

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	5,144 4,004	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	3,158 3,158	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	38.6 % 21.1 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

<p><管理基準に基づく省エネ対策の実行・継続> 基本方針に基づき、①空調設備面の対策 ②照明設備面の対策 ③冷蔵・冷凍設備を継続する。 具体的には 調省エネ(コンテナユーム)2025年度4~6月取付済 川崎幸店・川崎宮前平駅前店・川崎南加瀬店・川崎下小田中店、川崎京町店、新ゆりヨネッティー王禅寺前店 冷蔵設備更新計画: 2026年度 川崎生田店・川崎宮前平駅前店、2027年度 川崎幸店・川崎南加瀬店 太陽光発電設置計画: 2025年度 川崎中野島店 ただし、2025年4月川崎中野島店の開店により2024年度から1店舗増加するため、t-CO₂は増加することになります。なお、既存店に関しては年率1%の削減を計画しております。</p>	空
---	---

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	<p>【設備面での削減策の遂行】 主要設備の管理標準の改訂・各種設備の新旧入替え・各種設備のメンテナンス・維持・再エネ設備導入推進(全店レベルで実施) 【設備面以外の削減策の遂行】 ・デマンドシステム活用による電力消費の平準化・CO₂排出量進捗の把握(システム活用)・従業員の環境教育による削減意識の醸成</p>
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		床面積×営業日		原単位等の単位		k1/千坪×日
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費等	原単位の値	0.7568				0.734
活動量の値		2968				3465
エネルギー消費等			%	%	%	3.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量				原単位等の単位		
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量	原単位の値					
活動量の値						
排出量			%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

<管理基準に基づく省エネ対策の実行・継続>
 基本方針に基づき、①空調設備面の対策 ②照明設備面の対策 ③冷蔵・冷凍設備を継続する。
 具体的には
 空調省エネ(コンテニューム)2025年度4~6月取付済
 川崎幸店・川崎宮前平駅前店・川崎南加瀬店・川崎下小田中店、川崎京町店、新ゆりヨネッティ一王禅寺前店
 冷蔵設備更新計画：2026年度 川崎生田店・川崎宮前平駅前店、2027年度 川崎幸店・川崎南加瀬店
 太陽光発電設置計画：2025年度 川崎中野島店、2026年度 川崎下小田中店
 なお、2025年4月川崎中野島店の開店により原単位が定かではないため、基準年度から年率1%の削減を計画しております。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	2,247 kL	kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	2,678 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	9			

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量《クレジット考慮》(t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	スーパーマーケットのエネルギー使用量の過半を占める冷蔵設備の更新を進める。従来型より省エネ効果が高い機器に更新することでエネルギー使用量を抑制する。また、消費電力量が大きい冷凍のオープンケースはリーチインケースに置き換える。フロンをR-22からR-448aに切替え予定ですので、万一ガスが漏洩した際もGWP・ODPの軽減が図られます。
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項 (1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入 (基準年度)

種 類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入 (保有) 年度
太 陽 光				
風 力				
バ イ オ マ ス (燃料:)				
そ の 他 ()				
そ の 他 ()				
合 計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電力エネルギー 消費 量	9,873,081 kWh	kWh	kWh	kWh	10,878,700 kWh
再 エ ネ 電 源 等	15,797 kWh	kWh	kWh	kWh	268,790 kWh
再 エ ネ 電 源 比 率	0.2 %	%	%	%	2.5 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排 出 係 数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.496				0.431

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電 化 の 割 合	97.8 %	%	%	%	97.8 %

(4) 目標設定に関する説明

第 1 年度以降、北陸電力から東京電力に変更する可能性があり、全店東京電力の使用電気の排出係数で想定しております。電力エネルギー消費量については毎年 1 % ずつ削減すること想定しております。太陽光発電設備を第 1 年度に 1 店舗、第 2 年度に 1 店舗、設置を予定しており、設計上の発電量を踏まえて数値を算出しています。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

<p>計画</p>	<p>川崎市全店舗で太陽光発電の設置可否を調査した結果、2店舗に設置を計画しています。 2025年度 川崎中野島店、2026年度 川崎下小田中店 また、2024年9月より購入を開始した非化石証書については、引き続き継続して購入予定です。</p>	
<p>第 1 年度</p>		
<p>第 2 年度</p>		
<p>第 3 年度</p>		
<p>計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第 3 年度の報告時に記載)</p>		
<p>上記評価を踏まえた改善対策など (第 3 年度の報告時に記載)</p>		

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	2050年までの脱炭素化表明有・計画有			
内容	カーボンニュートラルの実現			
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	2050 年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	2030 年度	年度	年度	年度
	70%削減 (2013)年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	有			
内容	ユナイテッドスーパーマーケットホールディングス㈱として、短期目標ではないですが、2030年に2013年比CO2、30万トン削減（70%削減）			

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<p>再エネ設備（太陽光発電設備）導入店舗予定あり 2025年度：川崎中野島店、2026年度 川崎下小田中店 冷蔵設備更新 2026年度：川崎生田店・川崎宮前平駅前店、2027年度：川崎幸店・川崎南加瀬店</p>
<p>第1年度</p>	
<p>第2年度</p>	
<p>第3年度</p>	